

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット 2台

ソフトウェア（アプリ）

スマートフォン等付属の動画アプリ・ストップウォッチ機能
動画編集アプリ（簡単スロー（無料）など）



それをどう使う（それで何ができる）

- ・実験装置の近くに1台目のスマホのストップウォッチの画面が見えるように設置。
- ・2台目のスマホで、1台目のスマホのストップウォッチの画面が動画に映り込むように動画を撮影。
- ・撮影した動画を動画編集アプリでスロー再生。
- ・測定したい時間を記録。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 物理基礎・物理「自由落下」「単振動」など

【 Before 】

- 記録タイマーを利用しある距離を落下する時間を測定する。

【 After 】 **メリット**

- 計時が必要ないいろいろな実験で利用可能。
- 従来の実験を撮影し、スロー再生と併用することで実験の細かな様子について生徒の気付きを期待できる。
- デジタル測定でも、従来の実験での誤差を小さくする工夫を考えさせるなどの留意は必要。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	△			○		○
グループに2台（通常のストップウォッチも可）								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	1人1台端末			
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		理科（特に物理）	
		○	○		活用が想定される場面		演示実験・生徒実験	